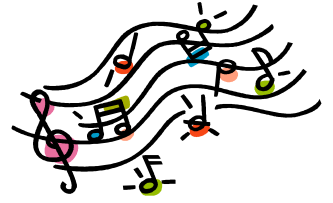


# びばいの住民みんなですすめる ささえあい実践プラン



## 第3期地域福祉実践計画

＝平成26年度～平成30年度＝

～近（助）所＝きんじよのつながり 3つのSで安心して暮らせるまち びばい～

### なぜささえあいが必要な？



私たちの社会は少子高齢化、人口の減少、家族や地域のつながりの希薄化がものすごいスピードで進んでいます。このため、高齢者、障がい者は一層厳しい状況におかれ、また、青少年や中年層においても貧困やその他生活上の課題が新たな社会問題となっています。

美唄市社会福祉協議会では、平成21年度からの5カ年計画である「第2期地域福祉実践計画」を策定し、事業を実施してきました。しかし、この5年の間に、本市の状況は大きく変化し、また、今後の5年間を考えた時、住民どうしささえあいをさらに強くしていく必要性が生まれています。

この実践プランは、地域福祉実践計画推進会議（事務局：社協）において、町内会等活動調査アンケートや、地域福祉懇談会、市民公募などからなる推進委員部会などの議論を通じ、今後、住民みんなで取り組む地域活動を目指して策定したものです。

### 身近なささえあい～ご近（助）所から広めよう

ひとりひとりが安心して暮らせるまちづくりを目指して、  
以下の4つの取組みをすすめます 一緒に取組みませんか？

支え、支えられ  
いきいきコミュニティ  
※町内会活動と活動者を支援

知って 知らせて  
つながる権利  
※適切な福祉サービス、  
情報の活用、権利擁護

近（助）所のつながり  
3つのSで安心して暮らせるまちびばい

さそい、さそわれ いきいきライフ  
※まちづくりを担う人材の育成

（番外編 4つめのS）  
そうだ、社協に聞いてみよう  
※分かりやすく、親しまれ、たよりに  
される社協を目指します

#### も く じ

なぜささえあいが必要？	1
人口推移	2
町内会アンケート・地域福祉懇談会	3
高齢者の日常生活	4
住民とともにすすめる実践プラン	5
進行管理と評価 社協とは	9

# わたしたちの暮らす美唄の姿（人口データから）

## 年齢構成別人口と平均世帯人員数（5年ごと）

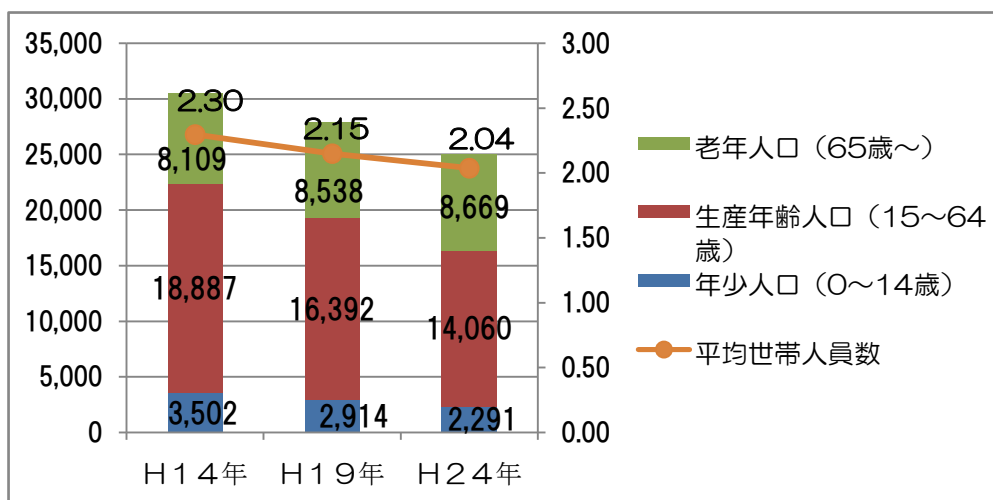
	H14年	H19年	H24年
年少人口（0～14歳）	3,502	2,914	2,291
生産年齢人口（15～64歳）	18,887	16,392	14,060
老年人口（65歳～）	8,109	8,538	8,669
総人口	30,498	27,844	25,020
世帯数	13,288	12,957	12,288
平均世帯人員数	2.30	2.15	2.04

※住民基本台帳（各年12月末現在）



### 年齢構成別の人口推移

- ・年少人口（0～14歳）と、生産年齢人口（15～64歳）→減少
- ・老年人口（65歳～）→増加
- ・世帯数、平均世帯人員→ともに減少

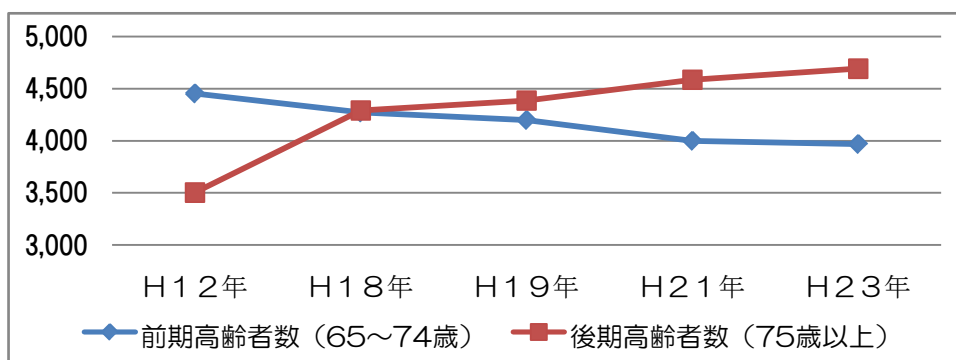


### 高齢者数の推移

- ・平成18年を境に後期高齢者数が前期高齢者数を上回る

## 高齢者数の推移

	H12年	H18年	H19年	H21年	H23年
前期高齢者数（65～74歳）	4,453	4,270	4,197	3,998	3,967
後期高齢者数（75歳以上）	3,502	4,289	4,385	4,585	4,691
合計	7,955	8,559	8,582	8,583	8,658



今後、高齢者を中心とした、ひとり暮らし世帯の増加が予想される

## 町内会で取り組めると思う福祉活動—見守り・声かけが4割—

H25年5月、本計画に反映することを目的に、各町内会等へ「町内会等活動状況調査」を実施しました。（結果 ページ）

調査結果からは、会員の高齢化、共働きの増などにより、役員のなり手がなく、同じ人が長く務めることになること、行事への参加も少ないことから組織の縮小を考えているなどが挙げられていました。

身近なささえあいの単位である町内会組織の活性化が求められています。

### 町内会での福祉活動の取組みについて (複数回答)

問11. 町内会として、福祉活動に取り組む考え方

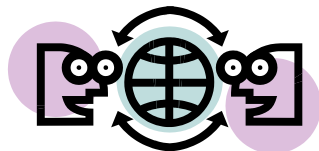
基本的には行政の役割だが、一定の協力はすべきだ	51	50.0%
町内会の役割のひとつとして積極的に取り組むべきだ	27	26.5%
行政の手の届かない分野について取り組むべきだ	24	23.5%
社協等の民間の福祉活動について積極的に協力すべき	21	20.6%
町内会として取り組むべきではない	8	7.8%
その他	5	4.9%

問12. 高齢者や障がい者等の緊急時の体制づくりの状況

町内会として特別な体制はない	71	69.6%
近隣の親しい方に対応をお願いしている	18	17.6%
緊急時のカードなどを整備し、連絡先、かかりつけ病院などを把握している	13	12.7%
福祉委員が対応する	5	4.9%
福祉部が対応する	3	2.9%
その他(救急ポスト配布予定、日常での声かけ)	10	9.8%

問13. 町内会で取り組めると思う福祉活動—見守り・声かけが4割—

高齢・障害者に対する声かけ、訪問	40	39.2%
高齢者・障がい者ニーズの把握	20	19.6%
地域福祉問題の啓発	18	17.6%
緊急時カードの作成など緊急時の連絡体制づくり	17	16.7%
会食会等交流	9	8.8%
福祉部設置	9	8.8%
介護教室など学ぶ機会を設ける	7	6.9%
家族介護者への支援	5	4.9%
その他(民生委・老人クとの連携、日常の交流の中で困りごと把握)	5	4.9%



約7割の町内会が緊急時の体制づくりをしていないと答えるが(問12)、もしできるとしたら、見守り・声かけ活動が4割(問13)

## 会う機会、交流する場を増やす 顔を出し、悩みを聴く活動が大事(懇談会から)

H25年8月から9月にかけて、市内6ヶ所で上記と同様の目的で地域福祉懇談会を開催しました。実際に地域活動を実践されている皆さんと日頃の活動について意見交換を行いました。(参加人数 延べ126名 市と合同開催)



地域福祉懇談会

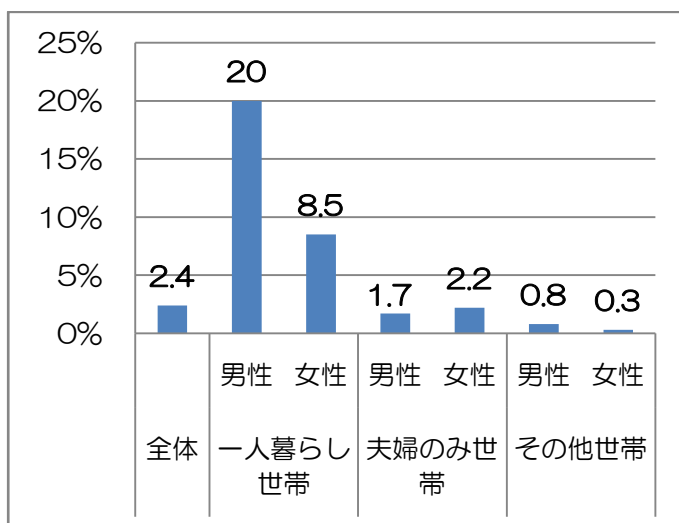
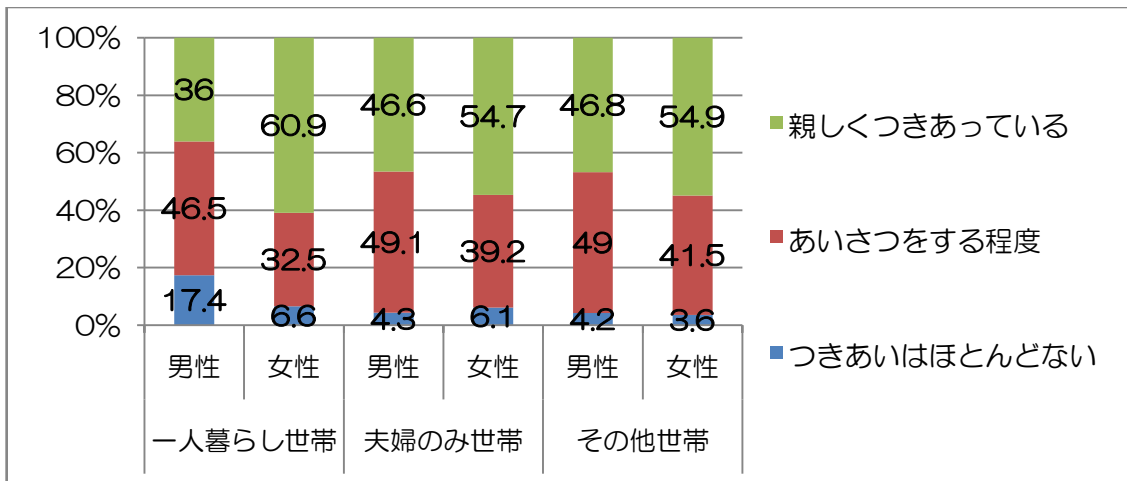
ある町内では、「まず会員どうし、会う機会、交流する場を増やすことを活動の中心に据えている」、「顔を出し、互いに悩みを聴く活動が大事」など、住民どうし、顔を合わせて関係づくりを始めていくことの大切さが言われていました。

また、町内の集まりに出てこられない高齢者には、「近所で(送迎の)車を出す」といった、人が集まる工夫をされている町内の紹介もありました。

さらに、町内会の会議を持つ上で、会議進行の方法や、問題意識の違いなどから、共通認識をもつことの難しさについての発言もあり、あらゆる方法で、活動者自身を支援するという視点も明らかとなりました。

## 近所づきあいの程度

一人暮らしの男性は「つきあいがほとんどない」が17.4%と高く、逆に一人暮らしの女性は「親しくつきあっている」が60.9%と最も高い。



## 困ったときに頼れる人がいない人の割合

病気のとことや、一人ではできない日常生活に必要な作業（電球の交換や庭の手入れなど）の手伝いについて、「頼れる人がいない」人の割合は、全体では2.4%であるが、一人暮らしの男性では20%にのぼる。

## 「助けて」と言い合える関係を

2010年に、NHK番組で「無縁社会」という言葉が紹介され、「誰にも知られず、引き取り手もないまま亡くなっていく」「孤立死」について広く知られるようになりました。

人と人との関わりが薄くても、とりあえず生活できる便利な現代社会ですが、このことが逆に、個人の孤立を招く結果になっています。孤立死は、高齢者だけでなく、都会の真ん中で、若年者や子育て世帯においても起こっているのです。

日本人はとかく、「他人に迷惑をかけない」ことを美德として育ててきた方が多いように思います。困難に出会った時、助けてほしい時、ちょっとした困りごとまで、頼り、頼られ、支えあう近所づきあいができたらと思います。見守りを「監視」と受け取るのではなく、「自分の尊厳を守る備え」と理解し、加齢による身体の変化と周囲の思いやりを受け入れることが、これからの高齢社会の中で、私たち一人一人に求められているといえます。

## 1つめの S

### 「支え、支えられ いきいきコミュニティ」

身近なささえあいを進める基点として「町内会活動」があります。地域福祉懇談会、町内会活動アンケート調査では「高齢化」「役員のなり手がいない」等の実態が明らかになりました。高齢化のすすむ本市において、時には支え、支えられる住民どうしの「つながり」を作る場として町内会での福祉部の設置などによる活動が住民の孤立防止等に役立つと考えます。

【重点実践活動】町内会に福祉委員、福祉部（地区社協）の設置を進めます

【実践活動内容の例】・町内会による聴き取り、アンケート調査の実施



(=課題を把握)

- ・町内会員名簿の作成と更新
- ・見守り訪問マップの作成と活用など

【進捗状況の確認について】	年度	26	27	28	29	30
地域福祉委員設置の依頼		○	○	○		
アンケート等による配置の把握			○			
本取組み推進方法の検討（見直し）				○		

### 「ささえあいの情報交流コーナー」設置します

町内会活動アンケートでは、福祉活動を進める上での課題として、「活動の進め方がわからない（21.6%）」、また、懇談会の中では、「会議進行の方法について難しさを感じる」といった意見もありました。

そこで、市内ですでにささえあいマップ作成等の活動を行っている町内会の具体的な取組みについて情報交換できる場として「ささえあいの情報交流コーナー」を設けます。

実際に取組みを行っている町内会の資料を閲覧できるほか、定期的に情報交換ができるよう活動実践者の定期駐在、また、楽しく学べる「まちづくり講習会」を開催し、町内会活動の活性化につなげることにします。

【進捗状況の確認について】	年度	26	27	28	29	30
上記交流コーナーの設置と見直し		○	○	○	○	○



#### 地域活動のヒント！

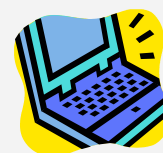
- ・保健推進員との協力
- ・地域福祉委員設置※
- ・自主防災グループ
- ・緊急情報キット※
- ・町内会等活動支援事業（町内会行事助成）※

※は社協事業

#### 社協ではこんな事業を行っています

- ・地域福祉委員設置事業
- ・地区社協設置事業
- ・ふれあいサロン
- ・災害図上訓練(DIG)
- ・カキ氷機、車いすなどの地域福祉活動等用具貸出し
- ・福祉車輛貸出
- ・地域福祉懇談会開催

コピー機 PC利用できます





### 社協ではこんな事業を行っています

- ・たすけあい金庫貸付事業  
(低所得世帯への一時的資金貸付)
- ・「なんでも相談室」設置  
(地区担当制事業)
- ・日常生活自立支援事業  
(日常生活費の管理)
- ・成年後見支援センター
- ・介護保険事業  
(デイサービス、ホームヘルプ、ケアマネジメント他)
- ・障がい者移動支援事業
- ・障がい者相談支援センター  
ーいんくる
- ・配食サービス(夕食弁当)
- ・地域福祉セミナー開催

### おもな相談窓口

- ・市役所
- ・保健センター
- ・子育て支援センター  
「はみんぐ」
- ・地域包括支援センター  
(市役所内)
- ・社会福祉協議会  
「なんでも相談室」
- ・法律相談(社協受託)
- ・消費者協会
- ・あしたば定例会  
(介護の相談: 第3土曜)
- ・ジョブガイドびばい  
(コアびばい内)
- ・警察署
- ・消防署

## 2つめの S

### 「知って、知らせて つながる権利」

平成12年度から社会福祉基礎構造改革のなかで施行された「介護保険制度」ですが、この保険制度と同時に車の両輪にたとえられて施行されたのが、「成年後見制度」です。急激に利用者数を伸ばした介護保険制度ですが、基本となる考え方は、「個人の契約」に基づいた制度といえます。

個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域の中で障がいの有無や年齢に関わらず、その人らしい安心のある生活が送れるようにするためには、やはり地域住民の参加と行動が必要不可欠ではないでしょうか？

ちょっとした困りごとを気軽に相談できる関係を地域内で持ち、近い将来に必要となる福祉サービスなどの情報を学び、また、相談機関を上手に利用してみんなが住みよいまちを作ること。ひとりひとりが守り、守られる上で地域住民の参加とそのためのシステムを作ることが不可欠です。

【重点実践目標】あらゆる相談窓口として社協機能を強化します

【実践活動内容の例】・近所で集まれる場所(サロン)の実施と参加

- ・介護サービス、認知症、権利擁護等について学習会の開催(=知る)
- ・身近な相談を相談機関(社協等)へつなぐ(=知らせる)

### 「なんでも相談室」を設置します

私たちの困り事には様々な要因が複合的に関係している事例が多くなっています。しかし、従来の年齢や障がい種別などから相談機関が異なるといったことが、「どこへ相談すればよいかわからない」といった現象を引き起こしています。

社会福祉協議会では、市民からの総合的な相談窓口として「なんでも相談室」を設置し、ワンストップでの相談窓口を提供します。また、そのための職員の資質の向上と関係機関との連携に取り組みます。

【進捗状況の確認について】	年度	26	27	28	29	30
なんでも相談室の設置						
・市民へのPR(広告)方法の検討		○	○	○	○	○
・職員研修の実施						
・地区担当制事業のあり方見直し						

## 3つめの S 「さそい、さそわれ いきいきライフ」

計画策定にあたり実施してきたアンケートや懇談会、推進委員で構成される部会では、「町内会役員のなり手がいない」「ボランティア団体等の新規会員がいない」など、活動を行う「人」不足という課題が多く挙げられました。人（地域住民）をどう活動に巻き込んでいくかは、大きな課題となっています。

活動に参加できない⇒参加する「きっかけ」がないことが要因⇒「きっかけ」は「さそい、さそわれ」で、できるもの⇒「さそい、さそわれ」ながら多くの人に活動へ参加・体験してもらうことを重点に実践活動を行いたいと考えます。また、地域活動に参加することで活動者自身が、いきいきとした生活を送る糧となるのではないのでしょうか。

【重点実践活動】 地域住民の活動参加の「きっかけづくり」を応援します

【実践活動内容の例】

- ・まちづくり講習会の実施（参加と住民どうしの交流）
- ・活動の選択肢増加（選択する楽しさにより参加を促す）

## まちづくり講習会を実施します

### ★開催の目的

- ①ちょっと体験・経験する場として
- ②きっかけ・情報収集（さそい、さそわれ）の場として
- ③参加者自身のいきがい・充実感（いきいきライフ）につながる場として

### ★実施内容

- ①楽しく学べる
- ②少人数・短時間でも開催できる
- ③どんな方でも参加できる

### ★具体的には（案）～楽しく学べるものを～

- ・高齢者向けパソコン教室（会議資料や広報誌の作成方法の基本など）
- ・遺言教室など（老後に活用できるもの）
- ・デジカメ教室、マジック教室など（趣味や特技を活かしたもの）
- ・レク教室（高齢者・子ども向け）、傾聴や車いす介助の基本、ボランティア体験など（ボランティア実践に向けて）
- ・町内会等リーダー研修会（交流を含む）
- ・異世代交流（昔ながらの遊びを子どもに教えるなど）
- ・介護予防クラブ（ピンピンクラブ）

【進捗状況の確認について】	年度	26	27	28	29	30
・まちづくり講習会 企画—実施—評価—見直し		○	○	○	○	○



### 活動のヒント！

- ・ゴミ拾い、町内美化活動（殆どの町内で実施）
- ・メロディ配布時や、赤い羽根封筒募金活動に声かけ運動
- ・すきやき隊、町内見守り
- ・避難訓練 防災訓練
- ・保健師さんと呼んでの健康講話
- ・笑顔であいさつ（一言添えられると嬉しい）
- ・できることを無理なく行う
- ・みんなで顔を合わせ、やってみる！参加してみる！



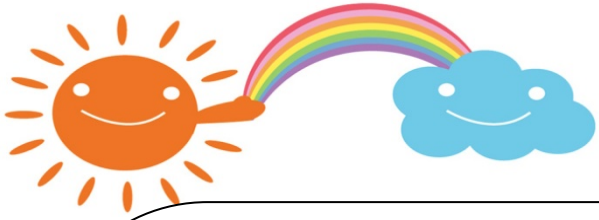
### 社協ではこんな事業を行っています

- ・まちづくり講習会（新規）
- ・障がい者にやさしいまちづくり事業（手話・点訳・朗読等講習会）
- ・ボランティアの相談、派遣
- ・ボランティア除雪
- ・災害ボランティアセンター設置にむけた取組み（新規）

など

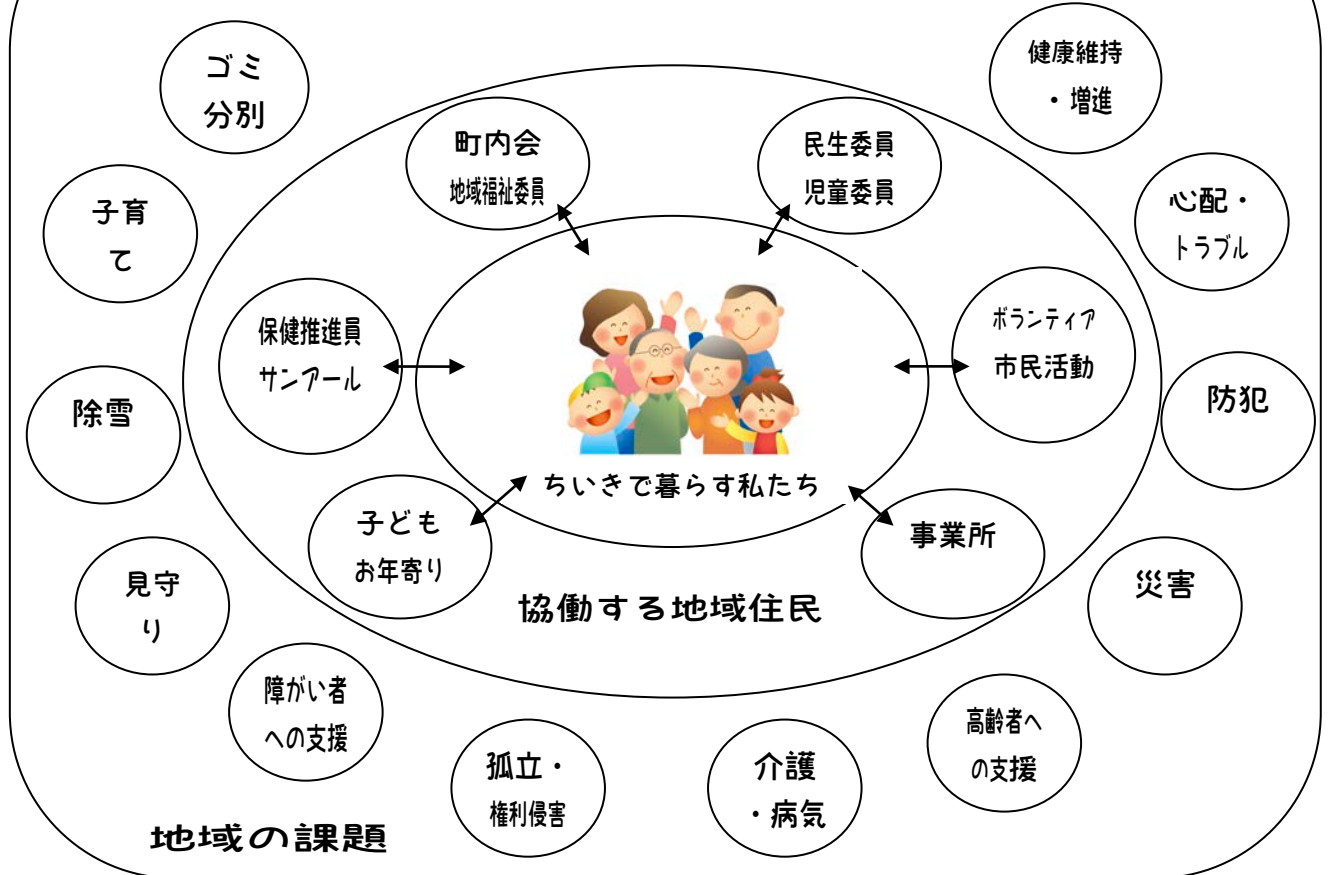
# 近（助）所=きんじょのつながり 3つの S で 安心して暮らせるまち びばい

【イメージ図】



みんな仲良く 安心して暮らせる

## ちいき社会（町内会・校区など）



【地域福祉実践計画】

3つの柱

1つめのS  
支え、支えられいきいき  
コミュニティ=地域の  
課題の把握と地域住民  
の取組み

2つめのS  
知って、知らせてつながる  
権利=安心してサービ  
スを受けたい、困りご  
と、どこに相談する？

3つめのS  
さそい、さそわれいき  
いきライフ=協働する  
地域住民として

### 行政

(施策・情報の発信など)

市民との協働

### 社協

(組織化・つなぐ役割)



地域福祉実践計画推進会議  
(事務局 社協内)

〒072-0026

美唄市西 3 条南 3 丁目  
美唄市総合福祉センタ  
ー内

電話番号

0126-62-0770

Fax

0126-62-6996

E-mail

soumu.bibai-shakyo@pipalnet.jp



## 進行管理と評価について

### 【進行管理】

- ・このプランを策定した地域福祉実践計画推進会議において行います。
- ① 毎年の推進会議で進行状況を確認
- ② 3年後の平成28年度を目安に事業見直しを行う

### 【評価】

- ① 上記推進会議と、住民懇談会などを通じ、市民の間の評価を取り入れま  
す。
- ② 計画実施の効果を住民や、推進会議に報告します
- ③ 最終的な評価は、計画期間の最終年度までに行います。

## 社会福祉協議会って？

「社協」は、地域住民（市民）を会員とし、運営は町内会代表や福祉関係団体代表などによる理事会、評議員会などにより行われており、地域福祉推進を目的とした、社会福祉法（第109条）に位置付けられた社会福祉法人です。本市では昭和26年に設立されました。

事業内容…社会福祉法に基づく地域福祉推進事業、美唄市受託並びに介護保険法に基づく在宅福祉サービス事業（デイサービス事業、ホームヘルプ事業、生活支援センター、配食サービス、障がい者相談支援センター、成年後見支援センター等）



美唄市社会福祉協議会

ホームページ

[www.bibai.com/shakyo/](http://www.bibai.com/shakyo/)

